

甲府西高 1年次だより



3月1日に想う

「3月1日」、毎年この日が来ると思うことがあります。「卒業式」の日というのは勿論だけど、それ以外にも一つ。えっ!!何か知りたい!?じゃあ、まずはみんなにこの質問から。

「2月はどうしても28日までなの? 閏年はどうして2月29日なの?」

さあ、みんなはこんな事を考えてみたことありますか?「ボーッと生きてんじゃねえぞ!!」って某局のキャラクターに怒られそうですね。実はこの答えは今から2000年以上前の古代ローマ時代まで遡ります。

紀元前753年、古代ローマで最初の暦が制定された時、1年の始まりは3月1日でした。なぜかと言えば、それは3月1日が農業の始まりだったからです。そしてそこから31日の月と30日の月が大体交互に訪れ、12月30日に1年が終わりました。その後、翌年の3月1日までの約2ヶ月は暦がなかったそうです。なぜ暦がなかったかって?それは、農業の出来ない冬の時期は日付が特にいらなかったからです。では一体どうやって3月1日を決めていたのでしょうか?答えは何と「春めいてきた適当な1日を3月1日とする」という何ともアバウトなものでした。その後、冬にも暦がつくようになり2月は28日と決められ、1年が355日で計算されるようになったそうですが、これには大きな欠点が。そう、実際の季節と暦がズレてしまうということです。そこでこのズレを修正したのが世界史上に名高いユリウス=カエサルでした。この古代ローマ最大の政治家は、紀元前45年から従来の暦を変えて1年を365日とするユリウス暦を採用しました。そして、その時同時に4年に1度2月の末日に閏日を挿入することにしたのです(なぜかと言えば、1年が365.25日であると計算されていたからです。)

さてそのカエサルですが、このユリウス暦を導入した翌年の3月15日、反対派によって暗殺されてしまいます。何で暗殺されたかは、ここでは書ききれないのでまたの機会にとっておきますが、彼が生前語っていた言葉に次のようなものがあります。それは「**学習より創造である。創造こそ生の本質なのだ。**」というものです。私は毎年3年生の卒業が近づく3月になるとこの言葉を思い出し、「**本当の学びとは何か、また生きるとはどういうことか**」なんてちょっと哲学者をきどって考えたりしています。とてもカエサルのように明確な答えは出せませんが、考えることで少しは自分にとっての「学び」や「生きる目的」みたいなものが見える気がしてきます。みんなもぜひ学びの原点に立ち返って「**なぜ勉強するのか、何のために勉強するのか**」なんて考えてみるのはいかがでしょうか。



保護者のみなさまへ

① 新2年次生 教科書の販売について

3月16日(土)は新2年次生の教科書販売日です。柳正堂書店(イトーヨーカドー甲府昭和店)にて、指定された教科書を各自で購入してください。詳細は後日、案内を配付します。

② 進路ガイダンスについて

先日御案内しましたとおり、3月20日(水)の14:25~15:30、進路ガイダンスを開催いたします。今回は鳳凰館と体育館を会場に、文理別に分かれ、河合塾よりお招きした講師から「今、何をすべきか~新入試に対応した力をつけるために~」の演題で講演をしていただきます。新大学入試の動向、日々の学習、2年次生になる心構え、進路設計について等の話を予定しています。

③ 新年度の準備を

甲府西高での1年生の生活も終わろうとしています。3月は、家庭学習日や学校行事で授業のない日が多くあり、春休みにかけてのこの1ヶ月間の過ごし方が、2年次のスタート、そしてその後の生活に大きな影響を与えます。この1年がどうであったか、今後どのような目標に向かって取り組んでいくか等、話題はどんなことでも結構です。親子で話し合う時間をもっていただけだと思います。規則正しく、健康で、計画的な生活が送れますよう、保護者の皆様の御指導をよろしくお願いいたします。

【3月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	金	第71回卒業式	17	日	
2	土		18	月	B きすなの日 短縮50分授業 入学許可予定者オリエンテーション準備
3	日		19	火	入学許可予定者オリエンテーション ※生徒家庭学習日
4	月	行 第4回定期試験 後期募集選抜検査会場準備	20	水	行 進路ガイダンス他
5	火	後期募集選抜検査 ※生徒家庭学習日	21	木	春分の日
6	水	後期募集選抜検査採点 ※生徒家庭学習日	22	金	B
7	木	B	23	土	
8	金	行 球技大会（雨天時は14日に順延、B週の授業）	24	日	
9	土		25	月	行 後期終業式 退任・離任式 大掃除
10	日		26	火	学年末休業（～4/7） 単位追認試験
11	月	行 きすなの日 答案返却 講演会	27	水	
12	火	A	28	木	
13	水	合格発表 ※生徒家庭学習日	29	金	
14	木	A 球技大会予備日（8日が雨天の場合）	30	土	
15	金	A 個人写真撮影	31	日	
16	土	春季特別課外（～17、19）			

【先生方からの寄稿】 今回でラストとなります。最後は6組の担任・副担任の先生方です。

「にんしきのしかた」

6組担任 松田 光司

こんにちは。いいそうつぎよしきでしたね。

にげんはもじをにんしきするときそのさしいよとさいごのもじさえあつていればよむことができるといふケンツリブジだいくのけけんきうをもとにかしまた。

どうですか？ なねんかまえにわだいになつたでしていつるひともいもるかしませんね。

もう面倒なので普通に書きます。読んでみてどう思いましたか？ 私は、人間って、言語的に意味のない配列でも、無理矢理「納得」できるように認識するんだなあと思いました。「納得」するためには、「知っている」と結びつけなければなりません。例えば、「さしいうにじほよう」って文字列は読めますか（答えはこのあとの文中にあります）？ 多分、多くの人が読めないのではないのでしょうか。この文字列は、いくら並び替えても「知っている」単語にならない。つまり、「納得」できない。どうやら我々人間は現実世界を認識するために、持っている知識を現実世界に近似させて「納得」しているようです。最近読んだ日経新聞の記事には、ディープラーニングの原理も実は単純な最小二乗法（誤差を最小にする近似計算の一手法）にすぎず、知能というのは、単純な近似計算の寄せ集めに過ぎないという話がありました。知能が単純な近似計算の寄せ集め…。衝撃でしたが、「納得」です。様々な経験を通して「豊かな」学習をし、できるだけ現実世界を正確に認識できるようになりたいものです。

ちなみに、西高のすぐ近くに、ディープラーニングの実用的（AIの専門的な知識がなくても扱える）な学習用PC「Deep Eye」を開発したコンピューターマインドという会社があるのですが、興味ありませんか？

「Speak up!」

6組副担 川村 美穂

先日受けた研修会の中で、講師の先生がイギリスの大学に留学中、体調不良で授業中に一度も発言をしなかったため欠席とみなされたという話を聞いて、思い出した新聞記事があります。

それは、エンジニアリング企業日揮グループの代表を務めた重久吉弘氏が、社員に常に「スピークアップ（Speak up）」の実行を求めているというものです。（辞書によると、①もっと大きな声で話す②思い切って話す、意見を述べる 今回は②の意味です。）というのも、国際舞台では言葉のコミュニケーション不足は不利に作用することが多いからだと言います。重久氏は、国際会議で初対面の大物にできるだけスピークアップするようにしているそうです。横浜で開催されたAPEC首脳会議でも、日本の経済人や各国首脳が顔をそろえたのですが、会場は静まりかえり、誰も首脳に話しかけません。そんな中、オバマ米大統領（当時）が見えたので話しかけてみたところ、話が盛り上がり、会議の後にオバマ大統領が自ら握手を求めて来て周囲も驚いたというのです。また、イタリアの会社と共同受注したプロジェクトで、問題が起きた際、社員は説明よりも解決を急いだのに対して、イタリアの会社は細かな説明を優先し解決策を探ったそうです。その結果、「品質や出来映えでは御社が上だが、仕事のパートナーとしてはイタリアの会社の方が安心感がある」と言われたといいます。そして、スピークアップは今後ますます必要になるだろうと述べていました。

皆さんが授業での発表やGTEC等に取り組む姿を見てきました。英語で自分の考えを伝えることは難しいと感じた人もいるかもしれませんが、でも、グローバル化の進む時代を生きていく皆さんには、ますますスピークアップが必要になってくるということでしょう。